

【専門教育科目/看護の展開/在宅看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
在宅看護援助論Ⅱ		必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
渡邊美樹	303	m-watanabe	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	在宅看護に特徴的な看護過程が実施できる基礎的な知識と技術を修得することを目的とする。具体的には、模擬事例における在宅看護過程の展開を行い、対象者の把握から看護の実施までを演習を通して体験する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	在宅療養者や家族のその人らしい生活ができるように、看護の力で何ができるか。積極的に事例演習に取り組むことで、看護実践への期待を膨らませてほしい。				
教科書	ナーシング・グラフィカ在宅看護論①地域療養を支えるケア/編:臺由桂他/メディカ出版/2019				
参考書	強みと弱みから見た在宅看護過程+総合的機能関連図/編:河野あゆみ/医学書院/2018				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	対象特性に応じたアセスメントを説明できる		NS(1)～(3)		
②	在宅における療養者と家族の生活上の課題を検討することができる		NS(1)～(3)		
③	在宅における療養者と家族が安心・安全に療養を継続するための看護計画を立案できる		NS(1)～(4)		
④	立案した看護計画を振り返り、在宅看護過程の展開を評価することができる		NS(1)～(4)		
⑤	地域における看護活動への興味を深め、臨地実習への意欲を高めることができる		NS(1)～(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	在宅看護過程の展開方法を学ぶ (在宅看護過程の特徴)	講義	在宅看護過程の特徴をまとめる	2	
2					
3	在宅看護過程の展開方法を学ぶ (在宅看護過程の展開の実際)	講義・GW	在宅看護過程の方法を体験する	2	
4					
5	事例を用いた在宅看護過程演習 ①情報の整理とアセスメント	講義・GW	事例について病態や治療・看護について調べる	2	
6					
7	事例を用いた在宅看護過程演習 ②看護課題の抽出・看護目標の設定	講義・GW	事例について医療・生活上の課題を明確にする	2	
8					
9	事例を用いた在宅看護過程演習 ③看護計画立案	講義・GW	事例について看護計画を立案し発表の準備を行う	2	
10					
11	事例を用いた在宅看護過程演習 ④看護計画の実施と評価	GW・実習	事例について立案した看護計画を実演を通して発表し、評価する	2	
12					
13	事例を用いた在宅看護過程演習 医療的管理が必要な療養者と家族への看護	実習	在宅看護過程を実践に近いスピード感を持って実施する (アセスメント・看護計画立案)	2	
14					
15	在宅療養者や家族が生活する地域を知る方法を学ぶ まとめ	講義	在宅看護関連の授業での学びをまとめる	1	
試	レポート試験 達成度評価・評価ポイント参照				

【専門教育科目/看護の展開/在宅看護学】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	0	50	30	10	10	100	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
問題を発見・解決する力		0	10	0	5	0	15	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点						
レポート	①	在宅看護過程の演習を通して学んだ在宅看護療養支援の必要性を考察し最終レポートを作成する。						コメントを入れて返却する
	②							
	③							
	④							
	⑤		✓					
	⑥							
成果発表	①	模擬事例において立案された看護計画を実演により発表する。他者の発表からの気づきや学びを学生同士で意見交換し共有し合う						成果発表について講評を行う
	②		✓					
	③		✓					
	④		✓					
	⑤		✓					
	⑥							
ポートフォリオ	①	初回授業で配布する「演習ガイド・課題用紙」に従い、課題に取り組み学びを整理していく。復習として教科書や資料を見直し学びをまとめる中で、学習への意欲や自己の課題を明らかにし「演習ガイド・課題用紙」を提出する。						コメントを入れて返却する
	②		✓					
	③		✓					
	④		✓					
	⑤		✓					
	⑥							
その他	①	全日程の出席を前提とする。理由のない欠席は授業への取り組み姿勢・意欲の不足と捉え、評価に影響する。						欠席が続く、提出物が遅れるなどが生じた場合は個別に指導を行う
	②							
	③							
	④							
	⑤		✓					
	⑥							
備 考								
他担当教員								
教員の実務経験	担当教員は、病院の看護師として2年、行政保健師として8年、訪問看護師として2年の実務経験を有する。							
実践的授業の内容	看護師や保健師としての経験を基に、地域在宅で生活されている療養者やその家族等の具体的な事例を交えながら講義を進め、実践をイメージしながら知識と技術の修得を目指す。							
その他	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語、他学生の迷惑になる行動は禁止します。教員に質問がある場合は、手を挙げて意思表示し質問すること。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が生じる可能性がある。 							